

## これからにも挑戦を続ける

榛東村長

真塩 卓



新年あけましておめでとうござ  
います。村民の皆さまには、輝か  
しい平成23年の新春を健やかに  
迎えることとお慶び申し上げま  
す。また、日頃より村政に対し  
ご理解とご協力を賜り厚く御礼申  
上げます。

昨年を振り返りますと、経済情  
勢では、中国が我が国のGDP(国  
内総生産)を上回り、経済大国世  
界第2位の座に躍り出ようとして  
います。また、液晶テレビや携帯  
電話、リチウムイオン電池などの  
製造において、韓国企業が大きく  
躍進し、日本の企業が世界市場で  
苦戦を強いられています。

外交では、ロシア大統領が初め  
て北方領土を訪問したり、中国が  
尖閣諸島の領有権をこれまで以上  
に主張するなど、日本に対する姿  
勢を強めています。特に中国が  
行ったレアアースの輸出禁止は、  
企業にも大きな影響を与えまし  
た。

一方で、バンクーバー冬季オリ  
ンピックやサッカーワールドカッ

プ南アフリカ大会での日本人選手  
の活躍は私たちに夢と感動を与  
え、小惑星探査機はやぶさの帰還  
や日本人科学者2名のノーベル賞  
受賞は、日本の技術力の高さを世  
界に証明しました。

国内においては、記録的な猛暑  
の中行われた参議院議員通常選挙  
において与野党の議席数が逆転  
し、ねじれ国会となりました。こ  
の結果は、民主党が一昨年の政権  
交代の時に掲げたマニフェストに  
反して子ども手当の財源の一部を  
地方に求めたことや、政治とカネ  
の問題、普天間基地移設問題など、  
混乱する政権運営に対する民意が  
選挙結果に表れたものだと言えま  
す。

また、政府は、これまで地方交  
付税や各種補助金として地方に配  
分してきた予算を一括交付金とし  
て配分することとしています。こ  
れは、使い途をあらかじめ決めら  
れている補助金などを、交付する  
総額を減らす一方で、その使途を  
定めずに地方が自由に使うことが

できるようにするものです。村で  
は、この使途について村民の皆さ  
まと一緒に考えるべく、昨年5月  
から10月にかけて各区において地  
区別座談会を開催しました。

この座談会では様々な意見を多  
くの村民の方からいただきました  
が、すぐに実行できるものから検  
証が必要なものなど、その内容は  
多岐にわたりました。一部につい  
ては、平成23年度の予算にも反映  
する予定です。

村政において重要なことは、村  
民目線で考え、ニーズがどこにあ  
るのかを的確に把握し、直接聞い  
て、感じて、それらを政策に反映  
させることと、そこから10年、20  
年後の村の姿を鮮明に描くこと  
です。今年も、輝かしい未来の榛東  
村を創るべく「挑戦」を続けてい  
く所存です。

最後になりましたが、本年が皆  
さまにとりまして最良の年となる  
よう祈念し、年頭の挨拶とさせて  
いただきます。

## 分権社会で議会の責任を果たす



榛東村議会議長

高橋 正

新年あけましておめでとう、ございます。明るい希望に満ちた平成23年の新春を迎え、皆さまのご健勝とご発展を心からお喜び申し上げます。

村民の皆様には、平素から何かと議会活動に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

一昨年の10月10日、盛大に挙行されました「榛東村制施行50周年記念並びに新庁舎完成記念式典」から、早くも1年余りが経過いたしました。

昨年を振り返って見ますと、春先には東京で観測史上最も遅い降雪に見舞われ、これにより村内の一部のブドウ栽培農家に甚大な被害を与えました。また、宮崎県口蹄疫は、発生から終息に至るまでの間、約30万頭が殺処分されました。夏は猛暑日が続き、前橋の平均気温は観測開始から114年間で最も高くなりました。国政は、民主党政権が参議院で大敗し、国内外ともに先を予測できない不透

明な状況にあります。日本経済も「悪性デフレ」脱却と景気回復の兆しは一向に見えませんが、大阪地検特捜部の押収資料改ざん、尖閣諸島周辺沖の中国漁船衝突、北朝鮮による韓国への砲撃、TPP加盟の問題など、2010年は、国内外ともにこれまでに増して激動の1年となりました。

さて、村政の状況でございますが、防災関係では、防災行政無線デジタル化工事が平成23年度完成に向け着手しました。教育関係では、念願であった中学校舎改築工事が平成24年2月完成に向けて進行しております。また、南小学校耐震補強工事、しんとう南部地区公園建設事業も無事完了いたしました。福祉関係では、新規事業である中学校1年生女子生徒を対象とした子宮頸がんワクチンの接種が行われました。また、福祉タクシー事業も開始されました。社会資本関係では、広馬場地区農業集落排水処理施設が完成に向けて進

行しております。また、公共下水道事業も計画どおり進められております。さらに平成23年度から第5次総合計画の後期計画がスタートします。

厳しい経済情勢の中、町村を取り巻く環境は複雑多岐にわたっており、今後、進展することが予想されます。分権社会では、議会の責任はこれまで以上に重くなります。そのような状況下、榛東村議会では、昨年6月に決算特別委員会、また、同年9月に予算特別委員会を設置し、決算と予算の両面についてチェック機能を強化しました。

本年も「豊かさを実感し夢と感動を創造する村・榛東」をめざして取り組んでまいりますので、村民皆様のご支援とご協力をよろしくお願いたします。終わりに、本年が村民皆様に取りまして、実りある飛躍の年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさつとさせていただきます。